



渡嘉敷村の 観光と暮らしを考える 地域円卓会議

持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？
農業・漁業・教育・観光等様々な関係者と確認する現在地、そして未来

実施報告書

日 時： 2025 年 2 月 19 日（水）18:00-21:00（受付開始 17:30-）
場 所： 渡嘉敷村中央公民館 1 階大ホール（沖縄県島尻郡渡嘉敷村渡嘉敷 209）
主 催： 渡嘉敷村、令和 6 年度渡嘉敷村観光誘客受入委託業務受託会社・沖縄 JTB 株式会社
協 力： 公益財団法人みらいファンド沖縄、NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成
NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

ACTIVITY REPORT

【報告】渡嘉敷村の観光と暮らしを考える地域円卓会議



■日 時：2025年2月19日（水）18:00-21:00
■場 所：渡嘉敷村中央公民館 1階大ホール
■着席者数：9名（論点提供者、司会、記録者含む）
■参加者数：15名（自営業、教育機関、行政等）

■主 催：渡嘉敷村、令和6年度渡嘉敷村観光誘客受入
委託業務受託会社・沖縄JTB株式会社
■協 力：公益財団法人みらいファンド沖縄
NPO法人まちなか研究所わくわく



論点提供

山城 淳（渡嘉敷村役場 観光産業課 課長）

持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？
農業・漁業・教育・観光等様々な関係者と確認する現在地、そして未来

渡嘉敷村は県内でもマリレジャー系（ホエールウォッチング含め）を中心に人気のある観光地となりました。今回の円卓会議では、観光業がもたらす成果が島の暮らしにどう影響しているのか、同時に島の暮らしや環境も持続可能にするためのポイントを確認し、観光で得られる果実を最大限にするための協働を参加者みんなで考えます。

センターメンバー



池松 来
渡嘉敷村観光協会
副会長



志喜屋 孝后
JA 渡嘉敷支店
店長



藤原 史明
渡嘉敷
漁業協同組合
組合員



當銘 由成
渡嘉敷村立
渡嘉敷小中学校
中学部教務主任



米田 英明
琉球新報
通信員



国吉 栄治
渡嘉敷村商工会
副会長

渡嘉敷村の観光と暮らしを考える

地域円卓会議

2025.2.19(水) 18:00 ~ 21:00
@ 渡嘉敷村中央公民館 1F大ホール

持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？
農業・漁業・教育・観光等
様々な関係者と確認する
現在地、そして未来

主催 渡嘉敷村、令和6年度渡嘉敷村観光誘客受入委託業務 受託会社
協力 公益財団みらいワイド沖縄、HPO法人 まちなか研究所わくわく 沖縄JTB株式会社

(論点提供) 山城淳 (司会) 平良斗星
池松来 国吉栄治
志喜屋孝后 米田英明
藤原史明 當銘由成

コロナ明け・観光客・外国人 多く訪れている
夏来・宿泊... 日帰り
地域の皆さんと一緒に考えていきたい
農・漁・教育の場として

論点提供

山城淳 渡嘉敷村役場 観光産業課 課長

渡嘉敷村

マリニジャー系... ホテルウatching 含め

夏季 1日800名 入域
船舶も満席の日も 200高 450 200
宿泊収容 660名

外国人観光客増... 多言語対応 食の多様性

冬季も含めて、年間を通じて、
安定的な入域者数を目指すことも

② 村民が乗船で離れないこともあるのか？
村内宿泊キャパ (約660人泊) ところ足る状況？
日帰り客増加へ？
訪日外国人観光客の入域増
宿泊客増に向けて、
村内消費へどうつながるか
夜エンタツ・シーン・場
消費機会の開発

池松来 さん

観光協会 副会長

3Dバンチャー
ツーリズム

サイクリング
ガイド

飲食店

人材育成

「ソーガイド」
ソーコネット

コロナ前後、そんなに変わらない

外国人 → おうべい、かきの人が増えてきた

インターネットで直接予約に入ってくる方、増
船の満席

7・8月と9月週末 → 6~10月へ広がった

12月になってようやくしずかな感じに、

12~2月上旬はガクッと落ちる

トッパシーズン、今日予約しようとしても
ムズかしい

船のキャパが、受入のキャパにつながる

宿泊施設のキャパ → 国話へ

宿泊より日帰り客多い、

それぞれの立場、ビジネスによってかわる

話しあ...が
必要

食へのニーズ

島の野菜・魚が紹介できるのが理想
ただ、この島の人口でどこまでできるか、

650名

島の人口以上の
人がいるとき

課長

定期船 村民の足 村営

要望 → 増便ありえる 乗船がみこめるので
あれば、

志喜屋孝后 さん

JA 渡嘉敷支店 店長

農家と観光客

「どこ産ですか？」ときかれる

くだものほしがる方多い

マグロジャーキー

調理をする人

安定供給 (課題)

とれたときにもってくる (観光客)

(課題)

ヨコのつながり

接合点

ビジネス 対話の場

島づくりも安い
(有利)

「さしみ
ないの〜？」

仕入れる人

調理する人

「どうやって
調理したの
...の？」

「かつ
食べる人
(観光客)」

藤原史明 さん

渡嘉敷漁協 組合員

若手出身
元・ホテルマン
人にめづられた

大切なタンパク源

島の魚を使ってくれる宿泊業ちょっと減り

地域に密着した漁業

〇〇っていいよ!

100匹ほくても1匹しかとれないことも

県外へ送っていたことも

コバンサメ

島では売れないが、外では高値で

売れることも

観光客

漁協の売店でさしみを、

地域で(ほいそ)

確実性がみずかしい

安定供給ができてない

急速冷凍もとりくんでる

島の中には
あるけど、でき
ている

漁師 少ない

2セキ(マグロ漁)

育成

専業がない

當銘由成 さん

渡嘉敷小中学校 中学部 教務主任

観光と教育 (子どもたち)

小30人
中20人

リスクはゼロじゃない

海外からの観光客 — 生きた英語にふれられる

地域紹介ポスターを英語でつくって見せたい

けらまた...こ (ちゅうしまたいこ (小))

← ふうじんたいこ (中)

とかしきまつり

へ参加/ひろうする

学校と
地域との
つながり
(課題)

小5で
学ぶ 農・漁
今日この場

又 よしもと... (小)

本島での発表

先生3~4年でかわる

先生が島のことを知る

校内研修

村民だけでは不足がい、Iターン

自身もモデル

住む場所がない、

外からの働き手を受け入れられない

米田 英明 さん

琉球新報 通信員

青少年の交流の家

年間 1万人 (宿泊) → ピーク時
1.5万人 (日帰り)

魅力

島の自然 交流 タレント

研修生 → 次は観光客で来島

経済効果 → 船・バス・宿泊
修学旅行 400名

海みてびっくりする

山のみどり 星空

感動体験
できる場所

年間 150~200本 発信した (通信員)

オーバーツーリズムの心配

観光客ふえるのはよいこと

日帰り
ゴミの問題

国吉 栄治 さん

渡嘉敷村商工会 副会長

兼業の方多い

日帰り / 宿泊

観光業の会員多い (商工会)

JA - ホテル7部屋 できること
地産地消している ありそう
コミュニケーションがない
SNSでの発信も

漁協の若手と商工会は重なる人もいる

あはれん地区 - 畑へてしまう

小さい島 - なーバイの中での話でなく

みかある
住みたい人いる (でも住めない)

何人の人口
ほしいのか、
その設計はいい

観光客増える

ひずみ

サブセッション

島にもどる子
みやまには

職場体験

ゴールが
みえない

もっと
連携を

JA
学校 とよねあう
こと必要

継続して
発信を

農業

野菜の
ついで

かい年

考え方が
ちがうのでは

LINEなど
共有された

物販販売
商店の前で
売ってほ

漁協
タイアップ

職場
体験

宿泊
農・漁の
タイアップ

観・農
田え
体験

つながる

15の春

さしみの
提供

さしみ
さばく体験
食べる

収かく
調理
フーデッド

麦

クラフト
ビール

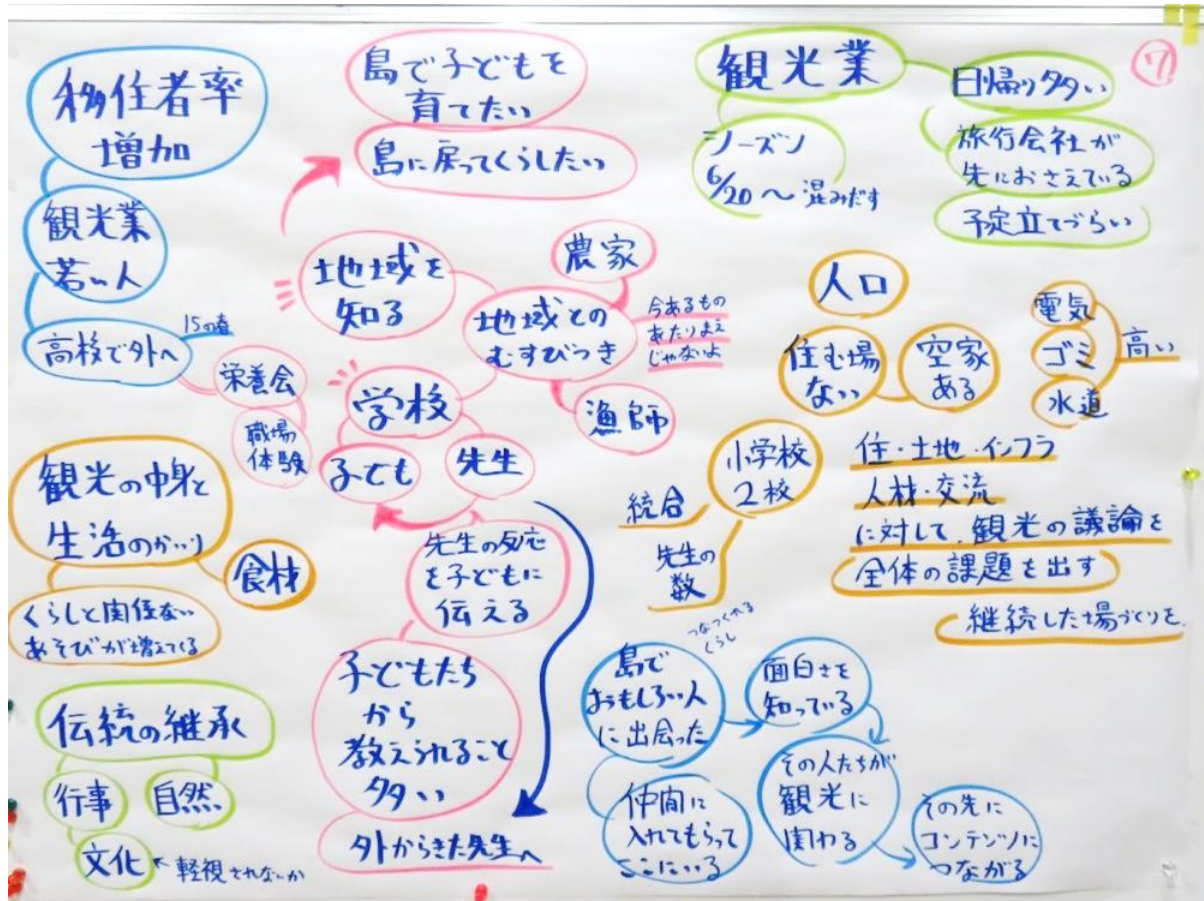
つながる

学校
行事

いろいろいいが

フリース
でいかに
自然・海
の魅力

特産品の
加工



山城 課長

人々のつながり (人)

くらし・観光

1970年代からの観光

いろいろな人の声をきいた

平良 (司会)

地域の課題全体を皆で共有する

住居・人材・インフラ

ビジョンの共有

いろいろな人がおもしろいところを知って、もってかえってもらう。

子ども・観光客・くらし人。

文化の継承も含めて、両輪で。

島全体の最適化へ。

■今後のアプローチの方向性

1) 観光の活用と島民の暮らしの共存共栄

観光入域客数の増加傾向はプラス要素、ただし年間を通じた安定的な観光客誘致（平準化）が課題。同時に観光客の増加による経済効果を量り、村民の暮らしと共存共栄できる観光消費のあり方、必要なコンテンツ等、戦略策定が求められる。

2) 観光キャパシティのコントロールと議論

渡嘉敷島の観光キャパシティは船の乗船者数に依存している。積極的な増便による観光収入増、もしくはキャパシティを制限しながら高単価な観光へシフトする考え方も選択肢に残しながら、行政・事業者・住民と議論していきたい。

3) 各セクターの論点

- ・農業に関しては、食材供給の安定性は課題であると同時に地域産食材へのニーズは高い。提供できる野菜（海産物も含む）安定供給も議論しながらも、現状の生産高を最大限に活かすための情報流通も含めた流通のあり方を議論したい。
- ・漁業においては、担い手不足・漁獲量の変動・保存設備の不足等の課題が確認されている。設備投資や人材育成の必要性を数字をもとに検討すべき。合わせて新しい人材のための住宅の確保も関連課題として上がっている。
- ・教育に関しては、学校教育と観光の距離を縮めることで、観光業の担い手を育成できる可能性も見えてきた。先生が地域と関わることで生徒とともに地域を学びながら、観光交流を通して人口の少なさに起因するコミュニケーション不足を補い、子どもたちの学習効果を高めていくべき。
- ・かつて国立沖縄青少年交流の家がはたしていた、交流型観光の可能性の議論が必要。近年話題になっているアドベンチャーツーリズム等高額な体験型観光が脚光を浴びている中、過去の交流の家の取り組みを再評価し、新たなツーリズム政策として検討すべき。

4) 総合計画や人口計画への住民の参画

上記の論点をまとめていくうえで、観光産業の可能性があるのにも関わらず、人口は減少していくというミスマッチを起こしている現状に対して、これまで住民や事業者から本音の意見聞く場がなく、それぞれがバラバラに行動しているということが垣間見えた。今後は観光戦略を総合計画の一部として位置づけ、データをもとにした具体的な議論を深めると同時に、オープンな住民参加の場を設けて、関係者間の意見交換・合意形成・利害調整をしていくことが重要である。

■参加者によるサブセッション

持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？

農業・漁業・教育・観光等様々な関係者と確認する現在地、そして未来

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

①

- ・ ゴールが見えない、話してる
- ・ 観光(色んな)暮らし(衣食住)分からない
- ・ 似た、会合とかは沢山あるから結局ゴールがどこに行くのかは分からないし、他とも変わらない
- ・ トカシキ新聞みたいなのを作れたらもっと暮らしと観光
- ・ 今までの流れを聞いた感想
暮らしについて、教師、地域の方々のつながりが大切なので、是非聞いて欲しい
- ・ 島に戻ってくる子が増える為には、観光業等に(職場体験)体験することが大切だと思います
- ・ もっと色々な機関との話をして連携が必要

②

- ・ ネイチャーガイド
アハレン小付近をさんさく
- ・ 農業と観光の融合
- ・ 郵便と保険と貯金で島にこうけん
- ・ 3/9 田うえ
7/19 つなひき、とくさん品、かこう、クラフトビール

③

- ・ 野菜の作り手と買い手の考え方の違い
- ・ 公式ライン、メール
- ・ 移動販売
- ・ 漁業

④

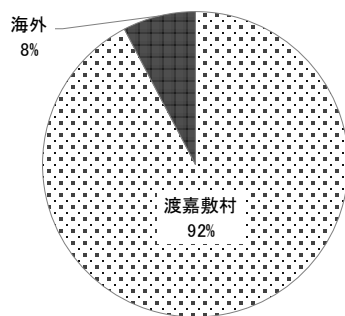
- ・ 宿泊が、農業漁協とタイアップで、ワークショップ収めくなどできたら
- ・ 学校行事に追われて、大変な場面が多い
- ・ 教育委員としては、3月に行事を入れるなどいわれているが、させたい事があるという思いもある
- ・ 中学校、職場体験、刺身をさばく、保護者 OK の主催なら生物も OK、提供できる
- ・ まつりでやると、解体のパフォーマンスをやってはどうか→見た人は島で子どもを育てたいと思うんじゃないか…
- ・ 漁協と島の子とのタイアップ、15の春、中3の子の栄養会、刺身等の提供、来年度からやりたい
- ・ フランスから島に来た思い、1ヶ月前に来村、自然、スノーケルが良いとすすめられた、マルセイユの都会から来た、海が魅力、ブッキングドットコムで来る人が多い

渡嘉敷村の観光と暮らしを考える地域円卓会議 参加者アンケート集計

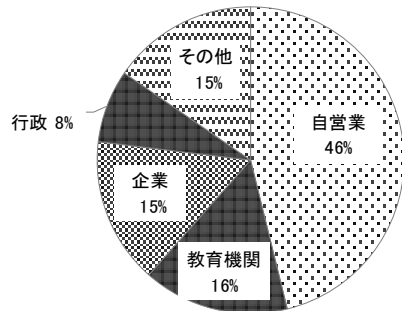
◆概要

- ・ 日時：2025 年 2 月 19 日（水）18:00 - 21:00
- ・ 場所：渡嘉敷村中央公民館 1 大ホール
- ・ 着席者：9 名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・ 参加者：15 名（自営業、教育機関、行政等）
(アンケート回収 13 名、回収率 87%)

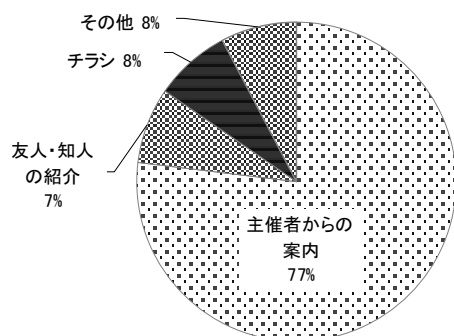
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：4.3 (5 点中)

5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
6 名	6 名	0 名	1 名	0 名

5. 満足度の理由

(5. 満足)

- ・ 島の情報が多く聞こえた。
- ・ いろいろな仕事をしている方と話しが、いろんな思いが聞けた。
- ・ 渡嘉敷島に住む多くの人々と出会い、彼らの仕事や地域社会への貢献について学ぶ良い機会です。外国人として、このようなイベントに参加して、日本語、文化、そして日本について学ぶ機会を得られることはとても貴重です。
- ・ 他業種との意見交流で「理想」や「できそうなこと」につながるヒントが多く得られた。
- ・ 30 年、保育教育現場にいて、昨年一棟貸別荘をオープンさせました。暮らす様に旅する体験をしてもらいたいという思いがあります。保育教育の現場から、子ども達が地域と触れ合った様にお客さんが畑で収穫→調理の体験ができるような横のつながりを持ちたい。という目標が明確に見えてきた。
- ・ ふだんは話を交わさないメンバーが意見を交えたのが非常に良かったと思う

(4. 概ね満足)

- ・ それぞれの職種が考える事、取り組みなど知る事が出来、今までは漁業はどういう働き？学校は？考える機会がなかったので新鮮でした。

- ・ 渡嘉敷村の発展（観光、教育、産業）について色々聞けてよかった。
- ・ 教育現場と普段話できない方々と1つのテーマについて協議できた。地域の現状と課題を職員現場にいる我々が知ること教科書では教えることのできない「生の声」を届ける場をファシリテートしていきたい、と感じた。
- ・ 良い試みだったと思う。定期的にくり返していただきたい。
- ・ 普段会議とかでは会わない JA さんも来ていて良かったです。また先生等、色んな角度の意見も聞けて良かったです。ただ…ゴールは良くわかりませんでした。

（2. あまり満足していない）

- ・ 次につながるのか？わからない

6. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ 地産地消、特産品作り、稲作（コミュニティーたんぼ）
- ・ 小グループでのディスカッション
- ・ 漁業・教育のタイアップ事業
村人口の期待ビジョン、そのための戦略⇒観光
米ができる⇒麦もできる⇒クラフトビール
- ・ JF、JA をうまく観光につなげたい。
- ・ 島産農産物を島の消費者とをつなぐ SNS 発信、とかしきニュース等の島内情報交流発信の場。
- ・ 情報発信（LINE）をしていく。色んなセクションと連携していかなければならない⇒問題解決を目指す。村の発展には、住宅問題が大きい⇒行政の役割。
- ・ 学校の先生の話が良かったです。

7. 会議運営に関してのご意見・感想

- ・ サブセッションの時間があつたのがよかった。

- ・ 思ったよりザックバランに話ができとてもよかった。
- ・ 各分野興味深い内容でしたが、感じたのがもっと横のつながり、1つの目標で島を盛り上げられたらなおかつ、島の自然の保全、保護の意識を高めつつオーバーツーリズムの対応をしていけたら。
- ・ ファシリテーター平良さん、話の引き出し方が非常に上手い。慣れない参加者に3時間ノンストップの会議は辛いと思います。トイレタイムは必要。島はコンビニも外食（ファーストフード）もないので、17:15 終業後、食事を作り食べ 18:00 に会議に出るのは無理。腹へった〜！18:30 開会が良いと思うが。記録ボード職人宮道さんすごい！！素晴らしいと思いました。
- ・ すばらしい地域円卓会議だったと思います。ディスカッションのメンバーに各産業の代表をもっと増やした方が多くの意見が出ると思います。→ビジョンの共有、役場の方の参加も増やした方がいいと思います。
- ・ くり返していく事で高まると思う。
- ・ 普段、触れ合わない方々との議論は良かったです。

(写真) 会場の様子



ゴールが見えな 逆して

観光 (色んな) 1
住み (依 合 住) 1
分らない

似た、金金とかは

沢山あるかい、結局

ゴールかどこに何てのは

いらないし、他にも

変なもの

トカギ新聞みた、さか作は
もっと暮らして暮らさ

今までの流れを学んだ奥に

暮らしについて、^{教員}地域のちの
つながりや大切なの、是非
聞いて欲しい。

島に居る子が増える為には、
^{職場体験}観光業等に体験するところ
大切だと思います。

もっとな機関との連携に
連携が必要。

・ネイターガイド
311の仕組みを

・農業と観光の融合

・郵便と
保険と貯金で島に

・3/9 田舎

7/19 つなぐ

7/19 ビル - か

○野菜の作り手と買い手の
考え方の違い

○公式ライン、メール

○天母重カ貝販売

○漁業

・宿泊が 農業漁協
とタイアップで、ワークショップ
48かにはいできたなら

・学校行事に追われて、
大変な場面が多い

・教育委員としては、3月に
行事を入れるなといわれて
いるが、させた事があつた
という思いもある

・中学校、駒場体験
刺身もさばく。

保護者OKの主催なら
生物もOK提供できる

・まつりでやると、解体の
パフォーマンスもやれば
どうか。→見た人は、
島で子どもを育てたいと
思うんじゃないか...

・漁協と島の子との
タイアップ

15の春、中3の子の
栄養会 刺身等の
提供。

来年度からやりたい。

・フランスから島に来た思い、
1ヶ月前に来た。

自然、スノーケルが
良いとすすめられた
マルセイユの都会から
来た。海が魅力。

ブリキングドットコムで
来る人が多い